

国道21号岐大バイパス 岐阜市内立体起工式

国道21号岐阜市内立体は、岐大バイパスの一部として、岐阜県西南部の東西交通を支えるとともに、広域的な道路ネットワークを形成する重要な道路です。

今回、国道21号線の西部本郷から下奈良（約5km）の立体工事が開始しました。

立体化により、慢性的な渋滞の緩和や交通事故減少等の効果が期待されます。

予てから地域経済団体が組織する「岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成協議会」の地道な要望活動が実を結び事業が進捗しております。今後も早期完成や整備促進に関わる予算確保を国、県に対して継続して要望していきます。

